

■ 競技規則等

本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会発行の現行の競技規則ならびに大会運営規定に則り実施する。

- 15点2ゲーム先取とする。（14オールとなった場合は、2点差がつくまで行い、最長21点までとする。）
- 各ゲーム8点時および第1ゲーム終了時に1分以内のインターバルを認める。
- ファイナルゲーム開始前に2分以内のインターバルを認める。

■ 審判について

- 本大会の主審は公式審判員が担当する。
- 1試合目の線審は、タイムテーブル3巡目（10:20）の選手に依頼する。
- 同一コートの次の試合については、下記のとおり選手が線審を担当する。ジャッジの際は主審とアイコンタクトをとること。アウトの場合は「アウト」のコールと同時にジャッジを行うこと。
 - グループリーグ : 勝者・敗者
 - 決勝トーナメント : 敗者
- ゲーム間にはコート全面にモップをかけること。またゲーム終了後コートを離れる前にも今一度モップ掛けをすること。

■ その他注意事項

- 初戦のみ2分間の練習時間を設ける。開会式前の練習時間は設けない。
- 全種目においてグループリーグを実施し、各リーグ1・2位による順位別トーナメントを行う。3位決定戦は行わない。
- 予選リーグの順位決定方法は以下のとおりとする。
 - ① 勝率
 - ② 直接対決の結果（勝率が同じ場合）
 - ③ ゲーム率
 - ④ ポイント率

※予選で棄権した場合は、棄権前の戦績に関わらずリーグ最下位とする。
- スケジュール2段目以降は空きコートから順にコールする。試合がコールされた選手は速やかにコートに入ること。
- 荷物は主審側の指定された場所に置くこと。
- チェンジエンドの際は、荷物をすべて持って移動すること。
- 試合中のコートを離れる事は認めない。ドリンク、予備ラケット等は必ず準備してコートに入ること。
- ラケット交換時およびシャトル交換時の試打は認めない。
- 試合のコール後、3分を経過してもコートインが確認できない場合は、競技委員長の判断により棄権扱いとする場合がある。※ロビーには放送が入らないため十分注意すること。
- 応援・観戦は2階観覧席からのみとする。コーチ席からのチーム関係者によるコーチングは認める。